



かたやなぎれいぞう  
片柳礼三の碑

片柳礼三は、高崎藩検見役として中之口・羽黒へ赴任してきた人物。明治初年頃の相次ぐ災害で困窮していた農民を救うため、独断で年貢米を大幅に免除し、その責任を負って切腹。村民は、恩人の衣服を埋葬して、墓を建立したということです。



中之口B&G海洋センタープール

B&G海洋センタープール帯は、スポレック中之口の愛称で親しまれています。体育館、野球場、テニスコート、B&G海洋センタープール(7月、8月のみ)が集まるスポレック中之口は、健康づくり、体づくりにも最適です。



もんだ  
門田ハザ並木

国道8号と116号を結ぶ県道にある、約700mのハザ並木。県道拡幅のために伐採される予定だったものを、農村の貴重な遺産として、保護・保存。平成6年には、新・日本街路樹百景に選ばれました。

**やすらぎの湯**  
中之口老人福祉センター内にある「やすらぎの湯」は、温泉造成装置付きで、幅広い年代に親しまれている入浴施設です。

**中之口農業体験公園**  
中之口地区の文化財「門田ハザ並木」をイメージした遊歩道でウォーキングや芝生の交流広場を利用した軽スポーツなど多目的な利用ができるほか、水辺の草花などが観察できる「観察舎」や家庭用農園として貸し出しを行う「市民農園」などがあり、自然と農業が満喫できます。

**フラワーロード**  
中之口先人館近くの、水路脇に連なる桜並木。昭和62年(1987)に旧中之口村が、ソメイヨシノのオーナー制の植樹を行ったもの。住民によって、90本の桜の苗木が植えられ、現在では桜の名所となっています。

**中ノ口川**  
信濃川の支流である中ノ口川は、慶長2年(1597)に上杉家の家臣・直江兼続によって開削されたともいわれます。ここで暮らす人々の生活・農業用水として利用されてきました。昭和29年(1954)7月の合併により誕生した旧中之口村の名前の由来となっています。

### 中之口先人館

中之口地区出身の先人の偉業を伝える文化施設。横綱・羽黒山、東映創設者・大川博、漢学者・小柳司氣太をはじめ、各分野で活躍した26人の資料などが展示されています。屋外には土俵、相撲やぐら、ステージもあります。



さわしよげん  
澤将監の館

江戸時代、中之口の豪邸だった澤家の屋敷を復元した施設。平成6年に澤家に伝わる家相図を基に、母屋、土蔵、表門など、屋敷全体を宮大工の手により再現。重厚なたたずまいや松並木などに、往時の豪邸の威容を偲ぶことができます。



ごまいぬ  
天正の狛犬、三十三観音像

この地の豪族であった川治近右エ門が、栃木・川治から移住する際、二荒社を祭神として祀られました。その時に安置されたのがこの狛犬です。また、観音像は近右エ門が、京都地方の石工に刻ませたものと伝わっています。どちらも打越の観音堂に納められています。



はぐるやま  
羽黒山銅像

中之口・羽黒出身の第36代横綱・羽黒山政司。12年間横綱に在位し、活躍した偉業をたたえ、平成6年に建立された銅像です。高さ5mもあり、全国にある力士像のなかでも最大級。母校である旧松長東尋常小学校跡地に建っています。

# 心を潤す

## 自然景観に先達の想いが息づく 中之口地区

長い歴史を、川と共に歩んできた中之口地区。  
水に育まれた美り豊かな里にたたずむと、  
心も自然とのびやかに。

